

# JATピックス

2026年1月



年頭にあたって

代表理事組合長

西田 利幸

新年あけましておめでとうございます。令和8年の新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、ともに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より農協事業運営に対しまして特段のご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の営農を振り返ってみると、春先の天候不良で播種作業は全体的に遅れましたが、6月上旬からは日照時間やまとまった雨に恵まれ、農作物の生育はおおむね順調に推移いたしました。同下旬以降は猛暑・少雨が続き、生育が平年より8日ほど進んだ秋まき小麦では細麦が懸念されましたが、結果的には平年を上回る収量となりました。馬鈴しょは干ばつにより小玉傾向でしたが、てん菜は徹底した防除作業で褐斑病などの病害を抑えることができ、平年以上の収量を確保することができました。

酪農畜産においては、デントコーン・牧草ともにある程度の適期収穫はできたものの、猛暑・少雨により二番草の収量が減少しました。乳量については前年よりも増産傾向にありますが乳価引き上げに伴う飲用向けの消費低迷と脱脂粉乳の在庫累増が課題になっております。各個体販売価格は復調基調にあるものの、生産コスト高止まりによる所得の減少が懸念されます。

農業を取り巻く情勢は、世界的な気候変動や国際紛争リスクによる食料供給の不安定さは増大し、為替相場などに起因する生産資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を及ぼしております。また、米国のトランプ政権による相互関税政策は国内の生産基盤の弱体化をもたらす懸念があるため、今後の動向を十分に注視する必要があります。

さて、令和7年度の農協事業に関しては、生産性の改善や農業生産振興の強化、業務効率化などを実現するために、週休2日制を導入し機構改革による組織改編を実施いたしました。組合員の皆様にはご不便をおかけすることもあるかと存じますが、より一層精進してまいりますので何卒ご理解のほどよろしくお願ひいたします。また、令和7年度決算に向けては当

初の計画を上回る見込みで推移しており、これもひとえに皆様方の営農努力の賜物と深く敬意を表す次第であります。事業年度も残すところあと2か月あまりとなりましたが、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

今後とも地域に根ざした協同組合として組合員をはじめ地域の人々とともに歩み「信頼・利用・満足されるJA」の経営理念をもとに、役職員一同、令和8年度の事業を進めていく所存であります。

新年も天候に恵まれ、災害もなく豊穣の秋を迎えることができますよう、あわせて組合員ご家族の皆様のご健勝を祈念して新年のご挨拶といたします。



## 新年を迎えて

代表監事 七海 義浩

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様ならびにご家族の皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より農協事業に対しましてご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

令和7年を振り返りますと、2月に国内史上最大の12時間降雪量を記録した大雪が管内を襲い、大規模な交通障害や建物被害が発生しました。9月には道内初の線状降水帯による集中豪雨に見舞われ、深刻な農業被害が相次ぎました。真夏日を記録した日数は平年の3倍に達するなど、1年を通じて天候に悩まされた年となりました。

営農においては、降雨で春耕作業の遅れもありましたが、晴天が続いたことで生育は順調に進み、秋まき小麦の収穫は今までにないほど早まりました。高温・干ばつが続いた夏場以降は農作物全般に生育異常が散見され、二次生長が多発した食用馬鈴薯においては規格内率の低下を余儀なくされました。酪農畜産では、生乳の生産抑制が解除され、乳価や個体販売価格が上昇傾向で推移していますが、生産費の高止まりにより厳しい経営環境が続いております。

さて、今後の監事会における取組みに関しては、内部監査室との連携を密にしてリスク低減や業務効率化の促進などが実現できるよう監査業務を進めてまいります。また、不祥事を起こさない組織づくりのために、役職員とのコミュニケーションを深めながら、コンプライアンスの遵守や内部統制の整備・強化に取り組んでまいります。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

本年こそ、災害に見舞われることなく、豊穣の秋が迎えられますことを心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

青年部長 早苗 晃平

新年あけましておめでとうございます。謹んでお慶びを申し上げます。また、日頃より青年部活動に対しましてご理解とご協力をいただいております皆様方にはあらためて感謝申し上げます。

昨年の営農を振り返りますと、2月上旬の記録的な大雪で農業施設への大きな被害、集乳作業の遅れなどが発生しました。4月下旬にも積雪を観測し春耕作業から苦労しましたが、その後は好天に恵まれ主要農作物の生育は順調に推移しました。しかしながら、夏場の記録的な高温・干ばつの影響によりほとんどの農作物が平年並みの収量となりました。気温30°C以上の真夏日を何度も記録するなど、農作物や家畜にとって過酷な気象条件となった1年でした。

農業情勢においては、気候変動による農作物の品質低下や収量減少、生産資材の高止まりなどが農業経営を圧迫しております。米価の急上昇を招いた「令和の米騒動」は、日本の稻作が不安定な状況にあることを浮き彫りにしました。農業を取り巻く環境は一段と不透明さを増しておりますが、我々農業者の存在が日本の食料安全保障を担保するものだと強く自覚し使命感と責任感を持って今後の苦難に立ち向かっていきたいです。

さて、青年部活動に目を向けてみると、6月に実施した農協施設の環境整備をはじめ、7月には恒例行事である農協役職員とのパークゴルフ大会を行い、楽しく交流を深めることができました。10月には札内南小学校の3年生を対象に食育推進事業を実施し、てん菜における「収穫体験」「青空教室」「機械見学」を行いました。子供たちの楽しむ姿や、多数の質問をいただいたことに嬉しくなったとともに、食と農に対して興味を抱いていることに感心しました。青年部員同士が協力し合い、アイデアや意見を共有していく中で、より一層結束力が高まった事業となりました。

研修では「カルビーポテト株式会社」を訪問し、馬鈴しょの選別ラインや大規模な貯蔵施設を視察しました。学習会では「株式会社 A G R I S M I L E」のご担当様をお招きし、バイオスティミュラント(BS)という高温による環境ストレスを緩和させる「高温対策BS」や、植物の根の成長促進により肥料の吸収量が改善される「栄養対策BS」などの農業資材について学びました。

私たちは絶えず変化する世界的な農業情勢、気候変動に対応していくため様々な経験を積みながら農業技術の向上や知識の研鑽を怠らず、的確な情報発信を継続していきます。そして、

盟友一人ひとりの意思と行動を結集し、さらなる組織力の強化を目指します。最後になりますが、今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますことをお願いするとともに部員各位、組合員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

女性部長

中山 昭子

女性部・組合員・ご家族の皆様謹んで新春のお慶び申し上げます。平素より女性部活動にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は記録的な猛暑で「激暑」と言っても過言ではないほどの異常気象に見舞われ、農作物に甚大な影響が出たほか、熱中症で救急搬送される方も相次ぎました。この経験を教訓としつつ、本年は気候が平年並みに落ち着き、皆様の努力の末に迎える収穫時期に心から笑顔が溢れることを強く願っております。

また、昨年7月には農協内において組織改正があり、女性部は新たなスタートを切りました。これを機に組織をもう一度見直し、下部組織との連携を密に取ることで時代に即した強固な女性部を作り上げてまいりたいと考えております。昨年の活動は、皆様の積極的なご協力のおかげで、当初の予定通り充実した形で実施することができました。心より感謝申し上げます。

本年も日々の農作業や子育て、家事に追われる女性の皆様にとってリフレッシュができる機会を作り、先輩メンバーとの知恵や経験を通じて、相互に支え合える交流の場を創出してまいります。

女性部が組合員の皆様にとってより身近で、活気ある組織となるよう尽力いたします。今後とも、女性部の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が組合員の皆様にとって健やかで実り多き1年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。